

1 国語に関する調査

【特長】

- 具体と抽象など、文中での情報との関連性について考える問題や主張をとらえる問題は、比較的正答率が高い。論説文の構造を理解し、要約する活動をした成果である。
- 情報の取り扱い方に関する事項や我が国の言語文化に関する事項の正答率が比較的高い。授業で丁寧に扱った成果だと考えられる。

【課題】

- 自分の考えが伝わる文章になるように工夫する問題を理解できていない生徒が多かった。物語の最後を自分なりに工夫して書くという創作活動が苦手と分析できる。文章の構成や書き方などを学ばせる機会を増やしたい。
- 表現の効果を工夫した「書くこと」に課題を抱える生徒が多いので、個人で推敲を重ねること、生徒同士で相互評価を行う活動を行っていくことが必要である。

2 数学に関する調査

【特長】

- 等式を変形する問題については、比較的できている。授業で基本問題から入試問題まで、あらゆる問題を取り入れた演習を充実させたためだと思われる。
- 複数集団のデータ分布から、四分位範囲を比較する問題は正答率が高い。授業で、箱ひげ図の比較を丁寧に行った成果だと考えられる。

【課題】

- 一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて考えることを理解していない生徒の割合が高かった。式、表、グラフなどを活用して相互に考えていくことが重要である。
- 図形の性質を使って、筋道を立て、説明することに課題を抱えている生徒の割合が高かった。図形の定義や定理を使って生徒同士で話し合うような経験を積んでいくことが効果的と考えられる。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- 学習の中で ICT 機器を活用することについて、「学習内容がよくわかる」「自分の意見を分かりやすく伝えられる」など、いずれの設問においても肯定的な回答をした生徒の割合が高かった。
- 「お互いに協力しながら課題の解決に取り組む」や「話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付くことができる」と回答した生徒の割合が高かった。

【課題】

- SNS や動画視聴、ゲームなどで携帯電話やスマートフォンを使う時間が非常に長い。それらの時間を家庭学習や体を動かすなどの健康的な活動時間に移行していく必要がある。
- 学習が将来に役立つと考えている生徒の割合は高いが、家庭学習を積極的に行っている生徒の割合は低い。計画的な家庭学習の習慣を身に付けさせる必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 学校生活において、生徒・教職員ともに認め合い励まし合う機会を増やし、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるための支援や指導を継続していく。
- 新聞や学校図書館を授業等で積極的に活用することにより、活字に触れる機会を増やし、読書の楽しさを実感できるよう学校での指導を工夫していく。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考え、生かそうとしている生徒の割合が高い。教科横断的に学びを深めていけるよう、授業づくりの工夫を継続していく。
- 職場体験等の総合的な学習の時間や学校生活の様々な活動を通して、将来の夢や目標をもち、それに向かって努力できる生徒の育成に取り組み、キャリア教育の充実に努める。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 子どもたちが安心して学校生活を送れるよう全教職員で取り組みます。子どもたちが自己肯定感を高められるよう、ご家庭でもあたたかい声掛けをお願いします。
- 朝食を摂る習慣が身に付いている一方で、起床時刻や就寝時刻にばらつきがあるようです。今後も規則正しい生活習慣の確立に向け、ご家庭でのご協力をお願いします。
- 地域の皆様からのご支援とご協力のお陰で、子どもたちは素直に成長しております。引き続きあたたかく見守っていただきますようお願いします。